

平成
31年度

京都府社会福祉協議会 事業計画・予算

「第4次中期計画（平成27年度～31年度）」の5つの柱にそって平成31年度の重点事業を紹介します。

1 「生活に困窮する人の自立支援」と「社会的孤立を防ぐ取り組み」の一体的な推進

- 生活困窮者をはじめとする社協の総合相談支援、地域連携の仕組みの構築協議
- 生活福祉資金貸付制度における広報の強化、相談支援活動の充実と債権管理の強化
- 自己（意思）決定支援を重視した地域福祉権利擁護事業の推進
- 「生活困窮社会における地域づくり研究会報告」提言内容の実現
- 「絆ネット」による福祉のまちづくりの推進
- きょうとフードセンターによる子ども食堂等への支援
- 家計改善支援事業の実施
- 市町村における権利擁護の地域連携ネットワークの構築と、市町村社協における法人後見事業や市民後見人候補者の養成等への取り組み支援
- 地域福祉実践ラウンドテーブル（仮称）を設け、地域生活課題の掘り起こしや解決策等について市町村社協と府社協が協働して検討・協議を行う
- 市町村社協におけるボランティアセンター機能の新たな展開への支援

4 「防災・減災のまちづくり」と「被災者・被災地のニーズに沿った災害支援活動」の推進

- 福祉職場における人材育成を支援するための研修の推進
- 地域共生社会の創造に必要な専門性を高める研修の推進
- 福祉職員の自発性、自律性を支援するための研修の推進
- 相談支援専門員研修等障害分野における研修体系の検討
- 行政、養成校、各種団体と連携した事業の取り組み推進
- 市町村社協災害ボランティア担当者会議の開催
- 京都府災害ボランティアセンターへの参画と事務局運営
- 京都府災害時要配慮者避難支援センターへの参画
- 災害時連携NPO等ネットワークへの参画

5 府社協組織の基盤強化

- 会員制度の見直し・充実と自主財源・民間財源の強化
- 第4次中期計画（最終年度）と第5次中期計画の策定

2 社会福祉法人との連携・協働と福祉サービスの質の向上

- 社会福祉法人との協働による「わっかプロジェクト（京都地域福祉創生事業）」の推進
- 福祉サービス苦情解決事業の推進
- 介護・福祉サービス第三者評価等事業の推進

3 福祉・介護人材の確保、定着、育成のための総合的な事業推進

- 福祉人材マッチング事業を中核とする福祉人材確保対策の総合的推進
- 介護のすそ野を広げるため、市町村と連携して「介護の入門的研修」を開催
- 介護・福祉・保育に係る人材確保に向けて、市町村連携事業（合同面接会、見学ツアーなど）の推進
- 外国人材の受入れに向けた調査・研究の実施
- 潜在有資格者の登録システムや貸付制度を活用した事業の推進
- 保育人材確保事業の推進

生活福祉資金会計の概要

生活福祉資金には、教育資金をお貸しする教育支援資金、一時的に必要な経費をお貸しする福祉資金、失業等によってお困りの方に資金をお貸しする総合支援資金などがあります。平成31年度の貸付金、償還金の見込みは下記のとおりです。

（単位：千円）

	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減
貸付	715,000	701,000	14,000
償還	602,831	582,551	20,280

平成31年度予算の概要

一般会計の実質的収支のまとめ

（単位：千円）

	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減
事業活動収入	495,795	527,876	△32,081
事業活動支出	505,526	539,976	△34,450
事業活動収支差額	△9,731	△12,100	2,369
その他の活動収入	10,100	12,433	△2,333
その他の活動支出	76	86	△10
その他の活動収支差額	10,024	12,347	△2,323
投機資金収支差額	293	247	46

（注）実質的収支とは、本会の事業運営に関わる収支を示すものとして、退職金支給にかかる収支、貸付事業の貸付金・償還金、ボランティア基金サービス区分及び会計区分間の収支を除外するなどを行った数値です。